

令和7年度第1回埼玉県さいたま地域医療構想調整会議 議事概要

開催日時：令和7年5月26日（月）19:30～20:30

開催方法：オンライン（Teams）開催

1 出席者

19名（別紙出席者名簿のとおり）

傍聴者 3名

2 議事

（1）会長の選出について

【委員の互選により会長を選出するところ、自薦・他薦ともになく、事務局の意見を求める声があったため、事務局が前任期に引き続き岩崎委員が会長を務めることを提案し、岩崎委員を会長とすることについて了承】

【質疑・意見等】

特になし

（2）さいたま保健医療圏におけるニーズ調査の実施について

【保健医療政策課が資料1を使って、さいたま保健医療圏における医療提供体制確保のためのニーズ調査を実施することについて説明】

【質疑・意見等】

○遠藤委員（自治医科大学附属さいたま医療センター）

浦和美園における病院整備が中止になったことで、高度急性期の病床は何床不足しているのか。

○保健医療政策課

高度急性期及び急性期は過剰であり、回復期及び慢性期が不足していると認識している。

○遠藤委員（自治医科大学附属さいたま医療センター）

今後の必要病床数の評価はどのように行うのか。

○保健医療政策課

必要病床数は来年度に策定予定の新たな地域医療構想において、国から示されるガイドラインに基づき算定を行う予定である。

○遠藤委員（自治医科大学附属さいたま医療センター）

国も定量基準分析を行うのか。ガイドラインを提供していただけるか。

○保健医療政策課

国は、定量基準分析は行っていない。必要病床数の算出についての資料は提供できる範囲で提供させていただく。

○百村委員（西部総合病院）

アンケートを見て思うが、順天堂が撤退した後どうするかと、さいたま保健医療

圏についての全般的な話と質問が混在している。浦和美園の土地に絞った調査にした方がいいのではないか。個人的には、急性期を中心とした大学病院の誘致は必要ないと思っている。それよりも各機能を持った医療機関の連携を進めていくべきである。

○保健医療政策課

浦和美園の土地の使い方を検討する際に、地域の医療ニーズは切り離せないため、案のとおり考えている。

○清田委員（さいたま赤十字病院）

定量基準分析を行っており、急性期、高度急性期はそれほど必要ではないという認識で一致しているのも関わらず、フラットに意向があるか調査するのは、本会議の意味合いが薄れるのではないか。

○保健医療政策課

フラットに調査は行うが、仮に意向があっても分析結果と一致しないのであれば公募はできないと考えている。分析結果を踏まえて公募の実施は考えたい。

○松本委員（大宮医師会）

医師会に調査されても希望病床数などは答えにくいのではないか。

○保健医療政策課

お答えできる範囲で問題ない。

○田中委員（岩槻医師会）

病床削減に対する補助金への希望者が多数いる状況であり、民間はどのように赤字を減らすか大変な思いをしている。さいたま圏域も同様であり、病床が不足しているとは思えない。誘致を前提に考える状況ではないのではないか。

○保健医療政策課

ご指摘のニーズも踏まえて聴取したいと考えている。誘致を前提とした表現とならないように考えたい。

○齊藤地域医療構想アドバイザー

このアンケートの一番の目的は学校法人順天堂の病院整備計画があったために、これまで病床整備できなかった医療機関に対して、病院整備計画がなくなった今からでも病床整備の意向があるか伺うものである。

アドバイザーとしては浦和美園の県有地の活用については、別の話ということで一緒に調査することについては反対していた。

○遠藤委員（自治医科大学附属さいたま医療センター）

病床整備についての話と、病院誘致が必要かという2つの要素が含まれているため、各委員が疑問に思われているのではないか。別の項目にした方がよいのではないか。

○齊藤地域医療構想アドバイザー

ご指摘のとおりである。より簡易な形で増床希望があるか聞いた方がよいかもしれない。

○保健医療政策課

誤解を招かない形を検討させていただく。

○岩崎会長（さいたま市与野医師会）

では、さいたま保健医療圏におけるニーズ調査の実施は了承ということで。内容はもう一度検討していただきたい。

(3) その他

【意見交換】

○桐澤委員（浦和医師会）

浦和医師会の病院部会において、病床整備したいが資金繰りが厳しいという話を耳にする。県は低金利での融資など考えないと病床整備の希望があっても手が挙がらないのではないか。

○保健医療政策課

ご意見として受け止める。

【意見交換】

○遠藤委員（自治医科大学附属さいたま医療センター）

県はアンケート結果次第では、既存の施設に対する補助金などの資金面のサポートで地域医療を補填していくのか。或いは同時に浦和美園に医師派遣機能を持つ大病院を誘致するという2本立てで考えるということか。

○保健医療政策課

1つの方法で偏在を解消していくことは難しいと考えているため、様々な点で考えていく上での参考とするためにも、アンケートを実施させていただきたい。